

## 藩主の石蔵

数世紀前、藩主が大規模な陣屋を所有していましたが、石蔵はそこに残された建物の一つです。石蔵は藩への年貢として納められていた大麦やキビなど、穀物の保存に使用されました。石蔵は穀物庫と銀行の金庫室の役割を兼ね備えていました。

## 頑丈な建築物

石蔵は玄武岩で作られています。玄武岩は富江地区のいたる所に存在します。近くのどこかで採取された石は、恐らく大きな石板に分けて運び込まれ、石材として切り出され、のみで加工された後に、丁寧に建築用ブロックに仕上げられました。石蔵は、この石材をモルタルを使わずに積み上げて建築されました。こうした緻密な石造建築技術は、当時最も大きな労力と費用を要するものだったので、重要な穀物を保存する目的で使用されていました。

## 精巧な建造物

この建築手法では、精密な加工を行った石材を隙間なく組み合わせる必要があります、その技術は芸術的とも言えます。ほとんどの壁は、石材の間にクレジットカード 1 枚の隙間もありません。石材は重力だけで繋ぎ合わされており、モルタルは使われていません。それに加えて幾多の嵐に曝されてきたにも関わらず、石壁は 3 世紀半が経った今でも、その形を留めています。